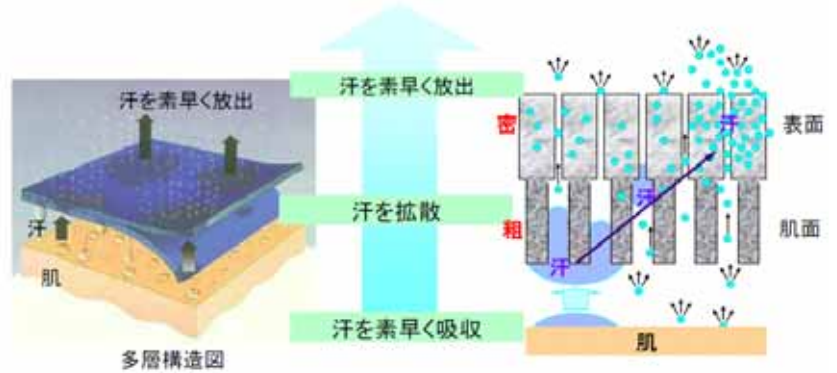


## ○参考資料:ベリークールFSカノコ

「密」と「粗」の多層構造で汗を素材表面に素早く拡散・乾燥

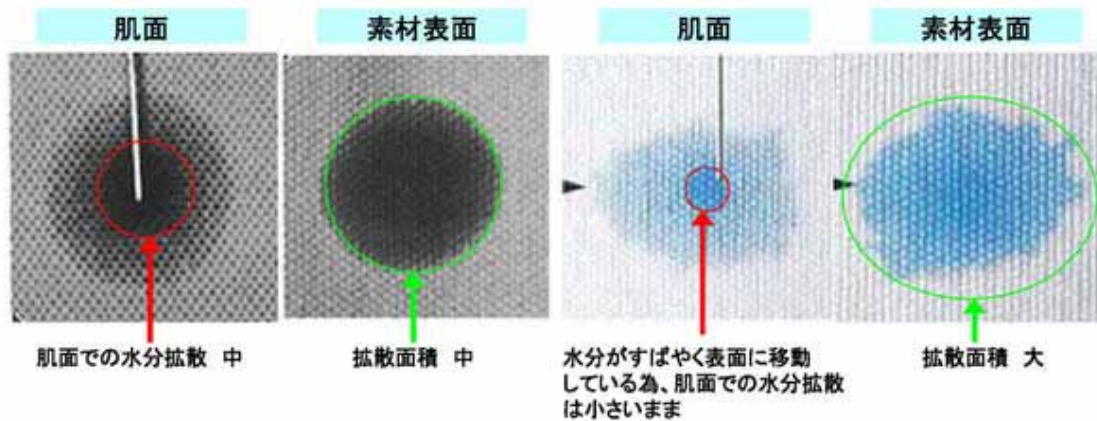
ベリークールFSカノコは、キシリトール効果の涼感機能に加え、生地編み構造が、肌面は粗く、素材表面は密にと多層構造になっています。こうすることで汗が肌面から素材表面へと素早く拡散します。水分拡散が小さい肌面ではドライ感に優れ、拡散面積が大きくなる表面部分ではより素早く汗を放出します。



吸水比較モデル図 インクを肌面に滴下し、肌面の拡散状態を確認しました。

一般的ポリエステル

新編み構造



新編み構造では、すばやい汗の移行により肌面の拡散面積が小さいことがわかります。逆に素材表面では拡散面積が大きくなっており、「ドライ性」「乾き」に優れた生地となりました。

平成 19 年 1 月 東レ(株)テキスタイル開発センター計測データ

TW3684・フィットタンクトップは、フィット性を重視するために、身頃の部分は「ベリークールストレッチFS DX」というストレッチ性の高い別素材を使用しております。